

Rotary

District 2510



ガバナー月信



Rotary International District 2510

2025.1.1 発行



Happy New Year

この号の内容

1. ガバナーメッセージ
会員皆様へ「新年ご挨拶」
「職業奉仕月間」

・2024-25 Take Action ツアー 活動報告

2. 各クラブからの国際奉仕パイロット事業の様子

3. 2024-25 Take Action ツアー 活動報告

4. グローバル補助金事業と各クラブのパイロット事業確認写真

5. 第53回 ロータリー研究会 ゾーン1A,2 & 3 in YOKOHAMA

6. 第53回 ロータリー研究会 ゾーン1A,2 & 3 in YOKOHAMA

7. 財団室ニュース/ハ イライトよねやま
・2024年12月23日現在の地区会員数

8. ロータリー文庫通信 389号
・米山記念奨学会/ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます



Rotary
District 2510

ガバナーメッセージ

会員皆様へ「新年ご挨拶」
「職業奉仕月間」に因んで



2024-25 ガバナー
出村 知佳子
(札幌北RC)

新年明けましておめでとうございます。2025年の幕開けを皆さまと迎えられることを、大変うれしく思います。本年も、ロータリーの理想のもと、共に歩んでまいりましょう。これまでの活動を振り返ると、各クラブの皆さまのおかげで生まれた心が通う「マジック」、地区大会でいただいた温かいメッセージ、そしてクラブでの奉仕活動が生み出した「マジック」、その全てがirresistibleなロータリーの力強さと魅力を示すものであり、深く感謝申し上げます。これらの「ロータリーマジック」は、人々を結びつけ、前向きな変化を生み出す大きな力です。私たち一人ひとりがその源となり、社会をより良い方向に導いていることを実感します。さて、1月は職業奉仕月間です。職業奉仕はロータリー活動の核心であり、奉仕を行う上の土台となるものです。

それぞれの職業を通じて地域社会に貢献し、職業倫理を重んじ、公正で誠実な姿勢を貫くことは、ロータリアンとしての基本です。これらの実践は、持続可能な社会を築くための重要な一歩でもあります。また、職業奉仕は単に自己実現や社会貢献にとどまらず、次世代への教育やリーダーの育成という側面を持っています。若い世代に私たちの経験や価値観を伝え、彼らが新しいリーダーシップを発揮できるよう支援することも、ロータリーの重要な使命です。一人ひとりが自身の職業を通じて奉仕の心を体現することで、クラブや地域全体に活力をもたらし、新しい可能性を切り開いていくことができます。

新年のスタートを、職業奉仕の意義を再確認し、「ロータリーマジック」を発揮しながら行動を起こす月としましょう。勇気をもって新たな挑戦に踏み出し、共に素晴らしい一年を築いていきましょう。ロータリアン全員で未来への一歩を踏み出す一年にしてまいりましょう。

2024-25 Take Action ツアー



2024年12月1日-6日 タイ東北部
「環境グローバル補助金事業」と各クラブの「パイロット事業」

地区国際奉仕委員長 大川 武志(恵庭RC)

この度のツアーでは、皆様の財団への年次基金寄付がどのように活用されているかを、グローバル補助金事業を通して確認させていただきました。また、地区国際奉仕委員会として、これらのグローバル補助金事業がクラブからの申請によってどのようにパイロット事業として立ち上げられ、持続可能な事業として展開されているかを確認する重要な機会となりました。現地では、洪水の被害を受けた地域への教材支援、日本祭りの開催をはじめ、多岐にわたる事業が行われており、参加者一同素晴らしい交流と学びの機会を得ることができました。また、新たに環境保全を目的としたグローバル補助金事業もスタートし、この取り組みが地域内に広がるとともに、周辺国への環境教育やリサイクルの仕組みの普及が計画されています。

これらの活動が実現できましたのも、ひとえに皆様からの温かいご寄付とご支援の賜物です。心より御礼申し上げます。今後も引き続き、皆様のご協力をお願い申し上げます。最後に、今回のツアーに参加いただき、勇気を出して多くのマジックを生み出していただいた皆様へ、心より御礼を申し上げます。





各クラブからの国際奉仕パイロット事業の様子



留萌RC | 江別RC | 札幌RC | 小樽RC | えりもRC | 室蘭RC



滝川RC | 岩見沢RC | 札幌モーニングRC
余市RC | 様似RC | 室蘭北RC



栗山RC | 札幌東RC | 千歳セントラルRC | 札幌北RC | 三石RC | 静内RC | 登別RC



砂川RC | 江別西RC | 蘭越RC
札幌北RC | 三石RC | 室蘭東RC



新札幌RC | 札幌南RC | 恵庭RC | 浦河RC

- [2024-25年度会長テーマ](#)
- [2024-25年度テーマとロゴ 関連資料](#)
- [ロータリーfacebookページ](#)
- [2024-25 出村G就任挨拶\(PDF\)](#)
- [ハイライトよねやま](#)
- [米山記念奨学会](#)

地区資料リソース・月信別冊

- [2024-25 地区年次目標・Gメッセージ](#)
- [2024-25 RI共同目標](#)
- [ロータリーのマジック 資料](#)
- [ロータリーの行動計画](#)
- [3Years Rolling Target plan 2024-25~](#)
- [2024-25 公式訪問](#)
- [公式訪問のお願い](#)
- [2024-25 地区組織図](#)
- [2024-25 地区カレンダー](#)
- [2024-25 地区予算案](#)
- [2024-25 クラブ会長・幹事名簿](#)
- [2024.11.10 地区大会リーフレット](#)

- [財団寄付送金明細書](#)
- [米山寄付送金明細書](#)

- [入会候補者情報の閲覧・管理](#)
- [入会候補者情報プログラムについて](#)
- [入会候補者情報の管理方法\(PDF\)](#)



2024-25
クラブのための資料集



2510地区公式LINE

2024年12月2日 活動報告

10:30 ノンカイ市庁での表敬訪問

訪問先：ノンカイ市庁舎
 表敬先：副市長 アロンコン・ラチャタメティー氏
 概要：国際ロータリー第3340地区（タイ東北）および第2510地区（北海道西部、日本）の代表者がノンカイ市庁を訪問し、副市長との意見交換を実施。双方の地域における協力関係の強化や国際奉仕活動についての共有が行われました。

13:00 環境事業の実施

場所：2つの県立小中学校
 概要：環境保全を目的とした共同事業が実施されました。タイと日本のロータリアンが協力し、児童生徒への環境教育および持続可能な活動に関するワークショップを開催し、以下の取り組みが含まれました。

1. リサイクルボックスの設置
2. 給食の残りを肥料化し、森林に還元するリサイクル活動の推進
3. グローバル補助金を活用したワークショップの実施

参加者

国際ロータリー第 3340 地区（タイ東北）
 国際ロータリー第 2510 地区（日本北海道西部）

この日の活動は、国際交流および地域社会への貢献を目的とした素晴らしい取り組みでした。特に環境事業では、子どもたちに持続可能な未来への関心を促す貴重な機会となりました。今後も地域および国際間の協力を深めていけたらと思います。

国歌斉唱

桑島和美さん（千歳ローターアクトクラブ）の国歌斉唱でスタートしました。

2024年12月3日 活動報告

10:00 環境・教育事業（ウィエンクック学校）

ウィエンクック学校にて環境および教育事業を実施しました。本校は、亡き齊藤博司会員（千歳セントラルRC）のメモリアル事業が行われた場所でもあり、その意義深い場で活動を進めました。この事業では、環境意識の向上と教育の質の向上を目的として、生徒や教職員との意見交換や実践的なプログラムを展開しました。ウィエンクック学校には2人の専門家の先生が在籍しており、今後、環境グローバル補助金事業の拠点として環境教育やリサイクル率向上の拠点に選ばれています。この学校を中心に地域全体への環境教育の波及効果が期待されています。

12:00 学校給食の共同体験

活動終了後、ウィエンクック学校で学校給食を共にいただきました。この時間は生徒との交流を深める貴重な機会となり、彼らの日常生活や食文化について理解を深めました。

13:00 ノンカイ市長 ウルヨス・アーサクル氏による歓迎

ノンカイ市長のウルヨス・アーサクル氏より、温かい歓迎を受けました。市長からは、本プロジェクトへの期待と感謝の言葉が述べられ、今後の地域連携強化への重要性が強調されました。

13:45 当地区で今年度承認された環境グローバル補助金事業および教育プロジェクトの実施

生徒たちと協力し、リサイクルボックス設置。基本的教育の質の向上を目的とした教材支援事業の実施(洪水被害校)をしました。プロジェクトは、県立学校で実施しました。

Take Action ツアー 現地視察の様子



グローバル補助金事業と各クラブのパイロット事業確認の様子



ノンカイ市長と



2024年12月4日 活動報告

10:00 県立幼稚園・小学校での日本フェスティバル開催

県立幼稚園および小学校にて、日本のローターアクトとノンカイのローターアクトが協力して「日本フェスティバル」を開催し、子どもたちと交流をしました。このイベントでは、日本の歌やアニメをテーマにしたさまざまな活動を通じて、子どもたちとの国際交流が行われました。

「遊びを通じた交流」

このフェスティバルは、幼稚園・小学校の子どもたちにとって、日本の歌やアニメを通じて新しい文化を知る貴重な機会となりました。子どもたちとの交流で、笑顔あふれる楽しいひとときとなりました。日本とノンカイのローターアクトの協力によって実現したこのイベントは、異文化交流の成功例となり、両国間の絆を強化する一日となりました。今後もこのような交流活動を継続し、地域や国境を越えた友好関係の促進に寄与していきます。



桑島和美会員（千歳ローターアクトクラブ）と「ドラえもん」の歌をみんなで歌い、参加ロータリアンがそのキャラクターになり一緒に踊りました。

スーパーボールすくいや紙風船、巻き笛などの日本の伝統的な遊びを通じて、子どもたちと楽しい時間を過ごしました。



2024-25 TAKE ACTION ツアー報告

2024年12月5日 活動報告

タイのノンカイボーイズホーム（男児孤児院）にて、札幌手稲RCによる職業訓練事業の奨学金の贈呈式を行い、併せてお菓子の差し入れをしました。この日はタイの父の日にあたり、新任の校長先生が白い正装で私たちを迎えてくださいました。この校長先生は、JICAのプログラムで苫小牧にも滞在された経験がある方です。

子どもたちの写真撮影は控えましたが、その笑顔と「ありがとう」と手を振る姿はしっかりと心に刻まれ、喜んでくれた様子が印象的で、この訪問が彼らに少しでも喜びを与える機会となったことを嬉しく思います。今後子どもたちが将来に向けての大きな力となっていくことでしょう。

奨学金事業：札幌手稲RCによる
職業訓練事業奨学金の贈呈式を実施しました。



2024-25 TAKE ACTION ツアーまとめ



地区年次基金推進チーム委員長 江本 勝典(岩見沢RC)

この度の主な視察内容は以下の通りです。

- ・環境のグローバル補助金事業
- ・環境グローバルのパイロット事業
- ・教育教材支援事業

日本フェスティバルでの交流事業

いよいよ「環境のグローバル補助金事業」が承認されスタートし、それを基盤に他の事業がより効果的に推進されていくことが期待されます。また、洪水被害に対する教材支援事業や、タイの父の日に男児孤児院「ボーイズホーム」で行われた奨学金支援も行われました。どの活動でも子どもたちの笑顔が溢れ、国際ロータリー第3340地区のメンバーと共に子どもたちと給食を食べながら、素晴らしい感動を共有することができました。

今回のツアーの主な目的は、皆様からの財団年次基金へのご寄付がどのように使われているのかを確認することでした。この視察を通じて、「環境のグローバル補助金事業」のスタートのタイミングであったこともあり、一層大きな力となっていることを実感し、さらに多くの感動を得ることができました。最後に、参加者の皆様、ご寄付をいただいた皆様に心より感謝申し上げます。

第53回ロータリー研究会 ゾーン1A,2&3 in YOKOHAMA

○第1セッション 未来への投資～より大きなインパクトをもたらす～

第1部パネルディスカッション

財団補助金プロジェクトの未来への投資

-ウクライナへの補助金プログラム活動～戦争孤児へ希望の光～

ロータリー研究会、第1セッションの未来への投資～戦争孤児へ希望の光～のウクライナの子どもの保護についてのパネリストを担当させていただきました。平和学を学んだローターアクトクラブ会長の中島さん、ウクライナへ本の支援をしているローターアクト阪本さん、ウクライナの方と交流を続けている上田会長、そして実践を続ける新井PGがファシリテーターで、とても学びの多いセッションでした。

<ファシリテーター>

新井和雄PG (第2820地区 地区R財団総括委員長 PG)

<パネリスト>

出村知佳子(第2510地区ガバナー)・川上美智子(第2820地区水戸好文RC会長)

阪本渚子(第2680地区ローターアクト元地区代表)・中島雅紘(第2680地区 つくば学園 RAC 会長)



基調講演 I

「The magic of Rotary」

ステファニーA.アーチックRI会長



基調講演 II

「The magic of The Rotary Foundation」

マーク・D・マローニーTRF管理委員長



○第3セッション 「DEI+B (Belonging = 帰属意識) 本音トーク」

第3セッション ロータリーの「DEI+B (Belonging = 帰属意識)」本音トークでファシリテーターを担当させていただきました。日本の同期生年少ガバナー二人と素敵なアクターの素晴らしいパネリストと会場の皆様のおかげで、素敵なセッションになりました。セッション準備で、あらためてDEI+Bについて沢山考え、話し合い、私自身やパネリストの皆様の中にも変化が生まれました。もしも参加者皆様が「DEI+B (帰属意識)」から生まれる愛を感じ、それが変化と平和構築につながると感じていただけたとしたらとても嬉しく思います。



オープンフォーラム



最終プログラムとして「オープンフォーラム」が開催され、参加者からの質問にステファニーA.アーチックRI会長、水野功RI理事などがお答えする形の画期的なフォーラムでした。



三木明TRF管理委員、水野功RI理事、ステファニーA.アーチックRI会長
マーク・D・マローニーTRF管理委員長、ラリーA.ランスフォードTRF管理副委員長



ロータリー文庫通信389号 国際ロータリー情報とクラブ活性化

文庫通信389号：

<https://www.rotary-bunko.gr.jp/php/catalog.php?catGenre=7389&gID=508>

HP：

<https://www.rotary-bunko.gr.jp/index.html>



米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

岩見沢RC	大屋 均	会員	(11回)	11月21日
岩見沢RC	峯 泰教	会員	(1回)	11月21日
岩見沢RC	高瀬 優	会員	(1回)	11月21日
岩見沢RC	南原 考之	会員	(1回)	11月21日
岩見沢RC	石井 善昭	会員	(1回)	11月21日
岩見沢RC	江本 勝典	会員	(50回)	11月21日
岩見沢RC	佐藤 紀征	会員	(6回)	11月21日
岩見沢RC	菅野 聖人	会員	(6回)	11月21日
岩見沢RC	三嶋 顕	会員	(9回)	11月21日
札幌RC	向山 松秀	会員	(3回)	11月29日
札幌西北RC	小川 眞治	会員	(10回)	11月 1日
札幌西北RC	遠島 芳然	会員	(2回)	11月 1日
函館セントラルRC	鍋谷 操子	会員	(20回)	11月20日
函館セントラルRC	伊藤 道雄	会員	(20回)	11月20日

米山功労クラブ

岩見沢RC	第46回	11月21日
岩見沢RC	第47回	11月21日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

深 川RC	大西 道祥	会員	(5回)	11月29日
留 萌RC	渡邊 裕久	会員	(2回)	11月13日

ポール・ハリス・フェロー

深 川RC	伊東由紀夫	会員	11月29日
留 萌RC	関野 紘史	会員	11月13日
砂 川RC	阿部 憲道	会員	11月30日

